

スケールについて

Cメジャースケール



メジャースケールは上記のように隣り合う各音の音程差が、全音、全音、半音、全音、全音、全音、半音の並びで1オクターブが構成されている音列です。

ルート音(根音、上記では最初の音)から全全半全全全半となれば他のルートからでもメジャースケールを作ることができます。例えばルート音をDにした場合、

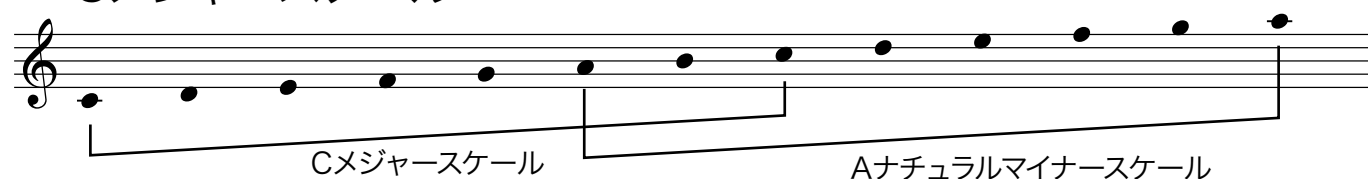
Dメジャースケール



となります。

Cメジャースケールの”ラ”から始めたスケールをAナチュラルマイナースケールといいます。

Cメジャースケール



Aナチュラルマイナースケール

